

和歌山県の地震

第 2 8 卷 5 号
令和 2 年 5 月

和歌山県の地震活動

震央分布図	・・・・・・・・ 1
断面図	・・・・・・・・ 2
概況	・・・・・・・・ 2
和歌山県で震度 1 以上を観測した地震及び震度一覧	・・・・・・・・ 3
震度分布図	・・・・・・・・ 3

地震メモ No. 318

南海トラフ地震関連解説情報 (令和 2 年 6 月 5 日)	・・・・・・・・ 7
津波フラッグ	・・・・・・・・ 8

- * この資料に使われている震源要素 (北緯・東経) は、世界測地系に基づいています。
- * この資料の地震の震源要素は暫定値を使用しています。震度データを含めて再調査した後、修正することがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 (河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合 (IRIS) の観測点 (台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東) のデータを用いて作成しています。
- * この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図 25000 (行政界・海岸線) を使用しています。

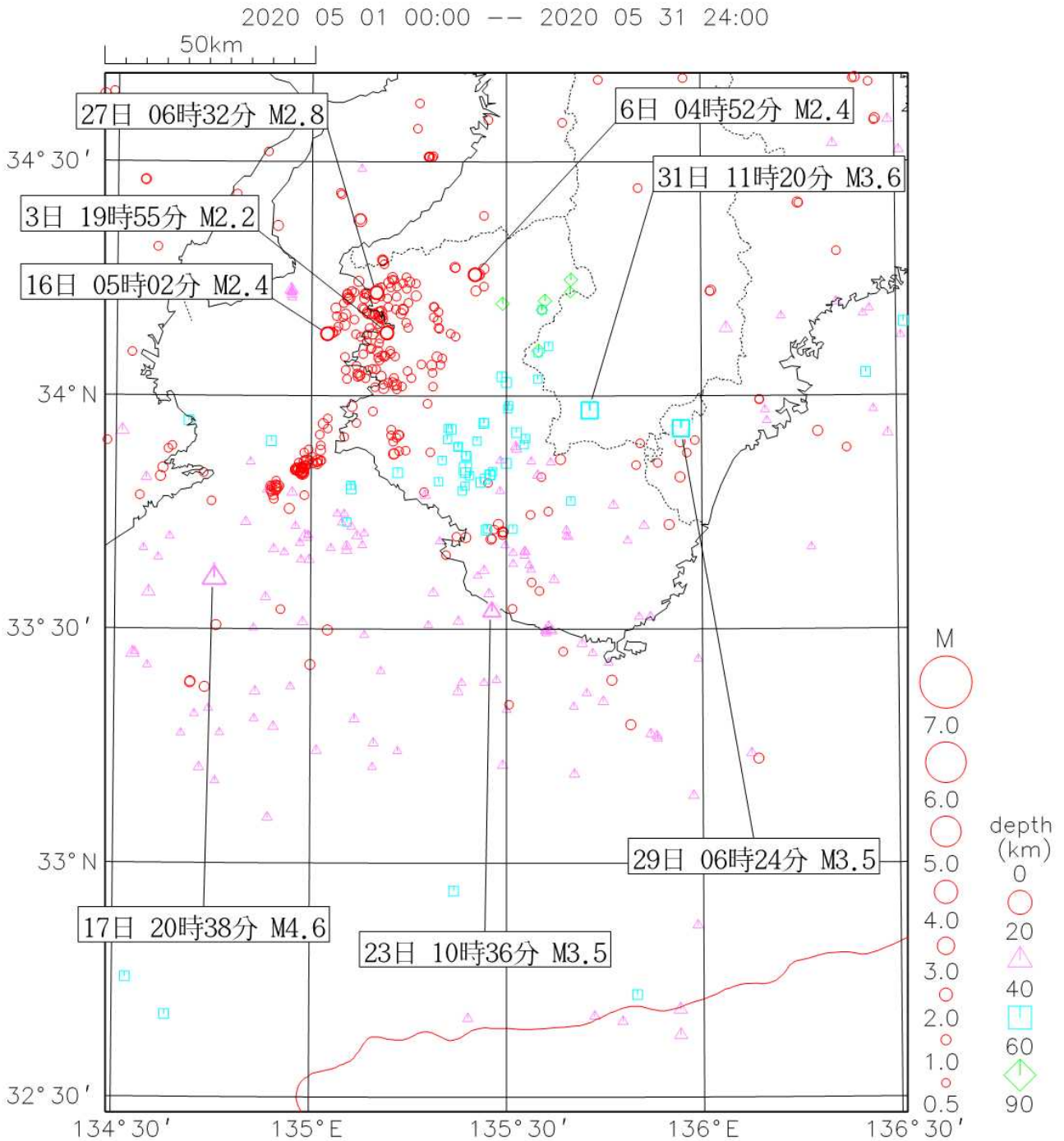
和歌山地方気象台

和歌山県の地震活動

2020年5月

和歌山地方気象台

震央分布図

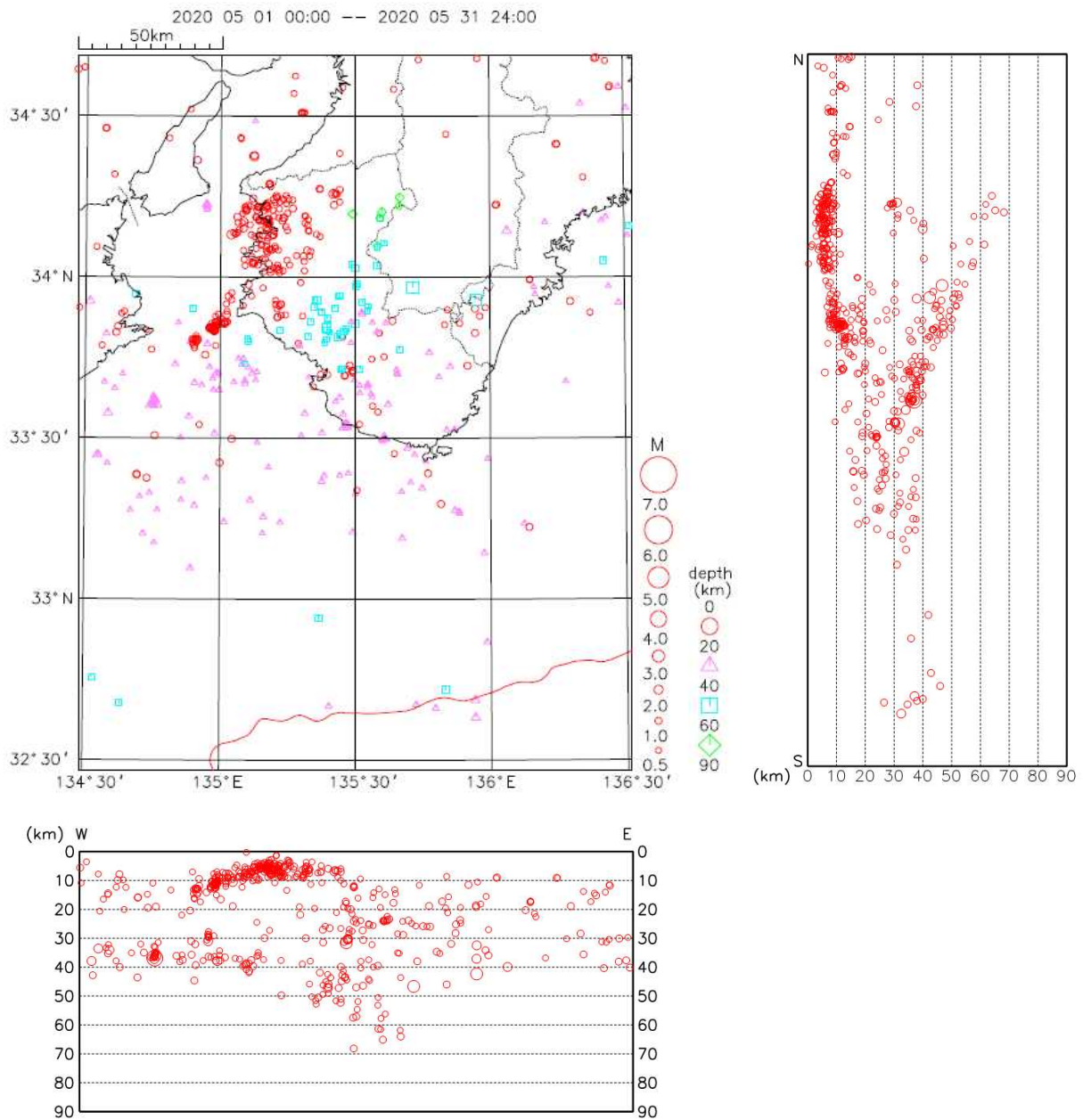


震央分布図は地震が発生した場所を地図上に描画したものです。

シンボルマークの大きさで地震の規模（マグニチュード）を、シンボルマークの形と色で震源の深さを表しています。また、赤線は海溝軸（南海トラフ）の位置です。

図中の吹き出しは、和歌山県内で震度1以上を観測した地震および震央分布図内で最も規模の大きな地震を示しています。

断面図



概況

5月の震央分布図内で震源決定した地震のうち、マグニチュード(M)2.0以上の地震は25回(前月は28回)でした。そのうち最も規模の大きかった地震は、17日20時38分紀伊水道の地震(M4.6、深さ37km)でした。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。

5月に和歌山県内で震度1以上を観測した地震は、8回(前月7回)でした。

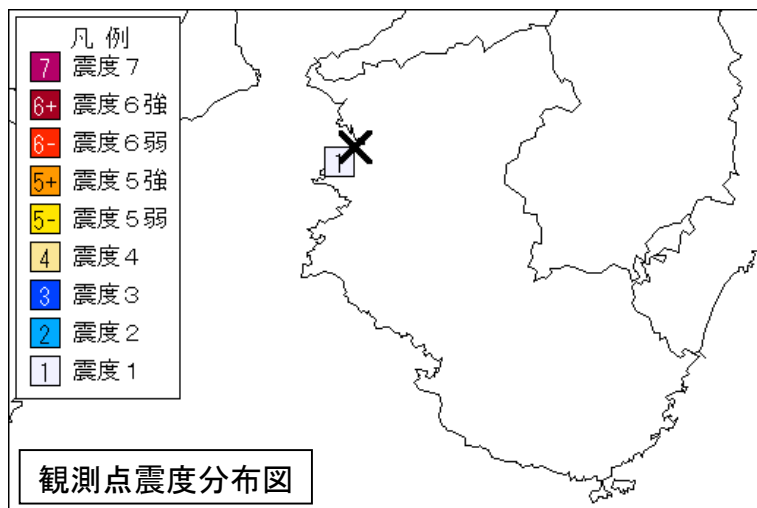
和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧

発震時（年月日時分） 各地の震度（和歌山県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2020年05月03日19時55分 和歌山県 震度 1：海南市下津*	和歌山県北部	34° 08.0' N	135° 11.5' E	6km	M2.2
2020年05月06日04時52分 和歌山県 震度 1：紀の川市粉河	和歌山県北部	34° 15.5' N	135° 25.1' E	7km	M2.4
2020年05月16日05時02分 和歌山県 震度 1：海南市下津*、有田市初島町*	紀伊水道	34° 07.9' N	135° 02.4' E	11km	M2.4
2020年05月17日20時38分 和歌山県 震度 3：御坊市藺、湯浅町青木*、由良町里*、日高川町土生* 震度 2：和歌山市男野芝丁、和歌山市一番丁*、海南市下津*、有田市箕島、有田市初島町* 和歌山広川町広*、和歌山美浜町和田*、和歌山日高町高家*、みなべ町芝* 紀美野町下佐々*、有田川町下津野*、有田川町中井原*、田辺市本宮町本宮* 田辺市中屋敷町*、白浜町消防本部、上富田町朝来* 震度 1：海南市南赤坂*、かつらぎ町丁ノ町*、かつらぎ町花園梁瀬*、高野町高野山中学校 和歌山印南町印南*、みなべ町土井、日高川町高津尾*、日高川町川原河* 紀の川市粉河、紀の川市那賀総合センター*、紀の川市貴志川町神戸* 紀の川市西大井*、紀の川市桃山町元*、紀美野町神野市場*、有田川町清水* 岩出市西野*、田辺市中辺路町近露、田辺市中辺路町栗栖川*、田辺市鮎川* 田辺市龍神村西*、新宮市新宮、新宮市磐盾*、新宮市熊野川町日足*、白浜町日置* すさみ町周参見*、串本町潮岬	紀伊水道	33° 36.5' N	134° 45.2' E	37km	M4.6
2020年05月23日10時36分 和歌山県 震度 1：田辺市中辺路町栗栖川*、新宮市新宮、白浜町日置*、すさみ町周参見*	和歌山県南方沖	33° 32.2' N	135° 27.7' E	32km	M3.5
2020年05月27日06時32分 和歌山県 震度 1：和歌山市男野芝丁、和歌山市一番丁*	和歌山県北部	34° 13.2' N	135° 09.9' E	6km	M2.8
2020年05月29日06時24分 和歌山県 震度 2：田辺市本宮町本宮* 震度 1：新宮市新宮、新宮市熊野川町日足*	和歌山県南部	33° 55.8' N	135° 56.8' E	42km	M3.5
2020年05月31日11時20分 和歌山県 震度 1：御坊市藺、湯浅町青木*、由良町里*、田辺市本宮町本宮*、新宮市熊野川町日足* 古座川町高池	奈良県	33° 58.1' N	135° 42.8' E	47km	M3.6

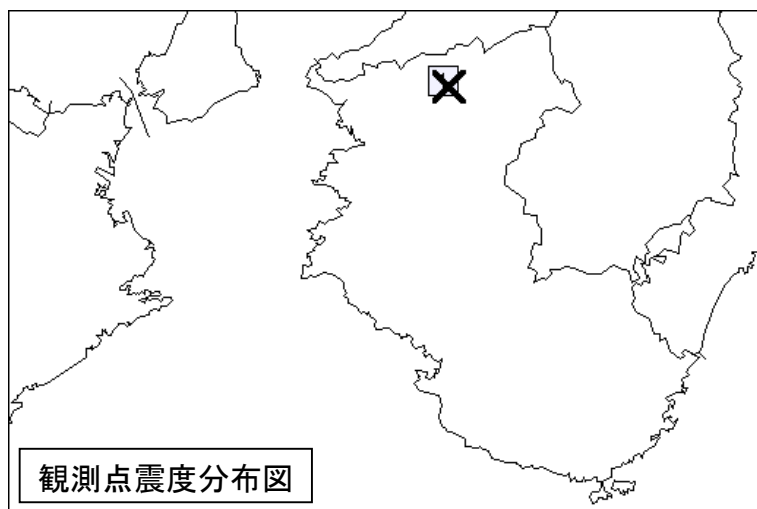
名の最後に*のついている地点は、和歌山県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

震度分布図（図中の×は震央）

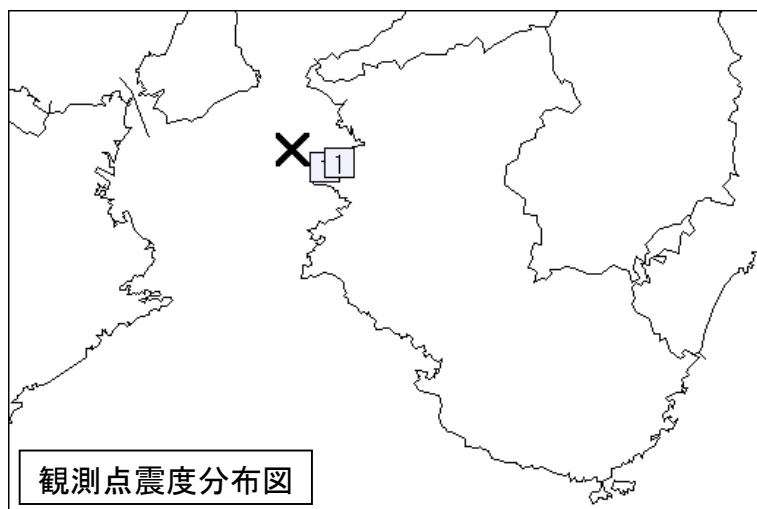
2020年05月03日19時55分 和歌山県北部の地震(M2.2、深さ6km)



2020年05月06日04時52分 和歌山県北部の地震(M2.4、深さ7km)

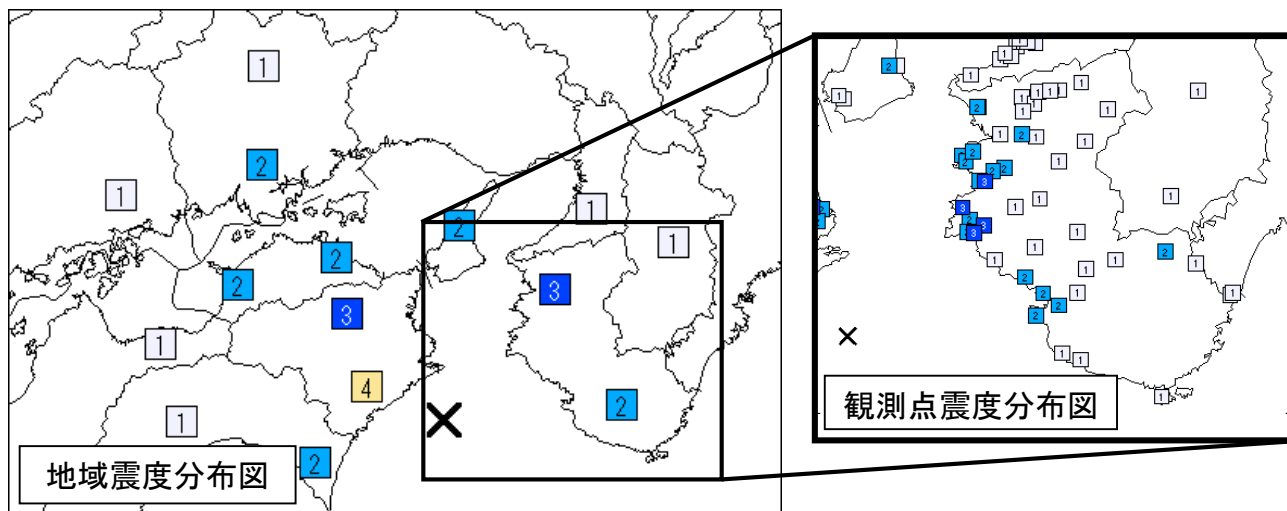


2020年05月16日05時02分 紀伊水道の地震(M2.4、深さ11km)

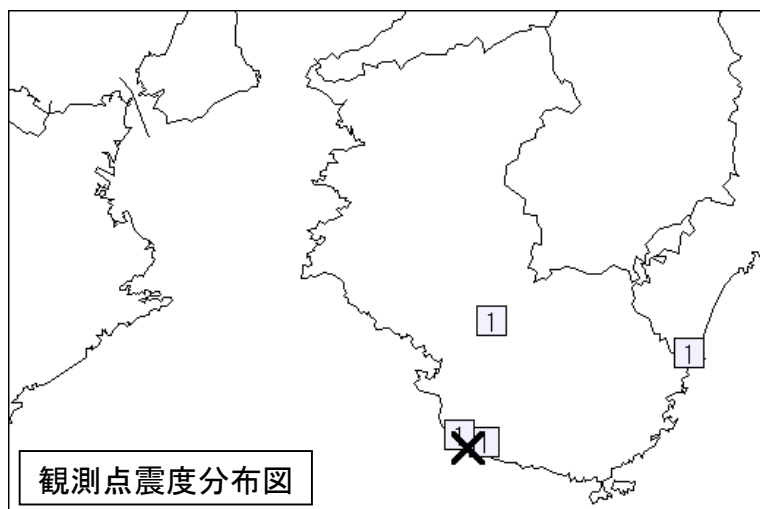


震度分布図（図中の×は震央）

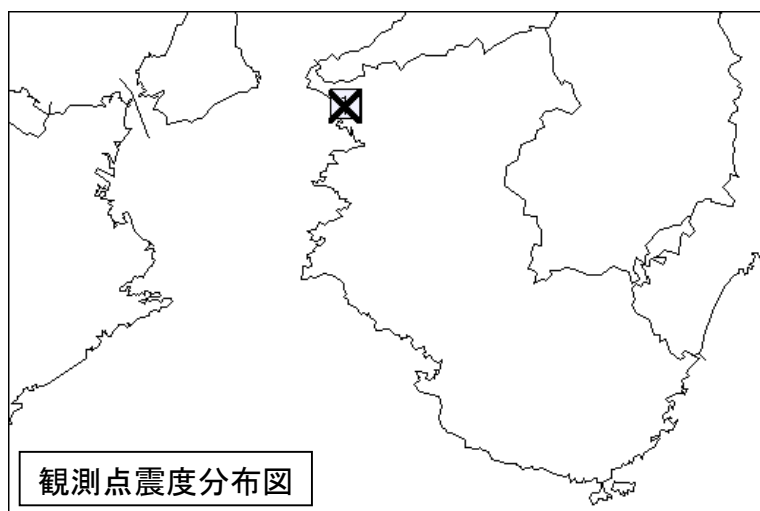
2020年05月17日20時38分 紀伊水道の地震(M4.6、深さ37km)



2020年05月23日10時36分 和歌山県南方沖の地震(M3.5、深さ32km)

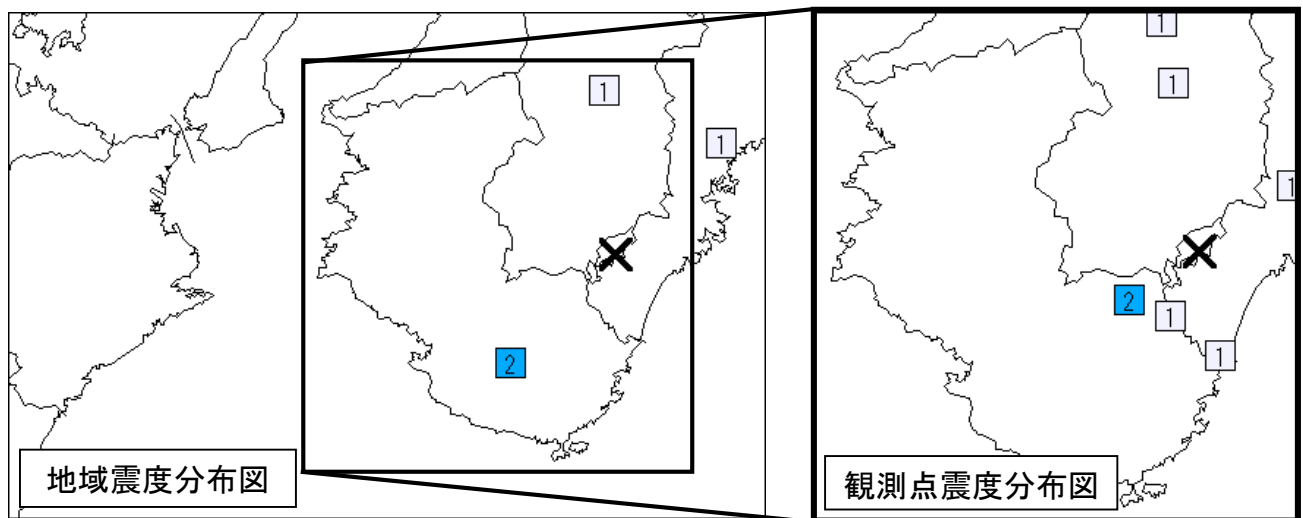


2020年05月27日06時32分 和歌山県北部の地震(M2.8、深さ6km)

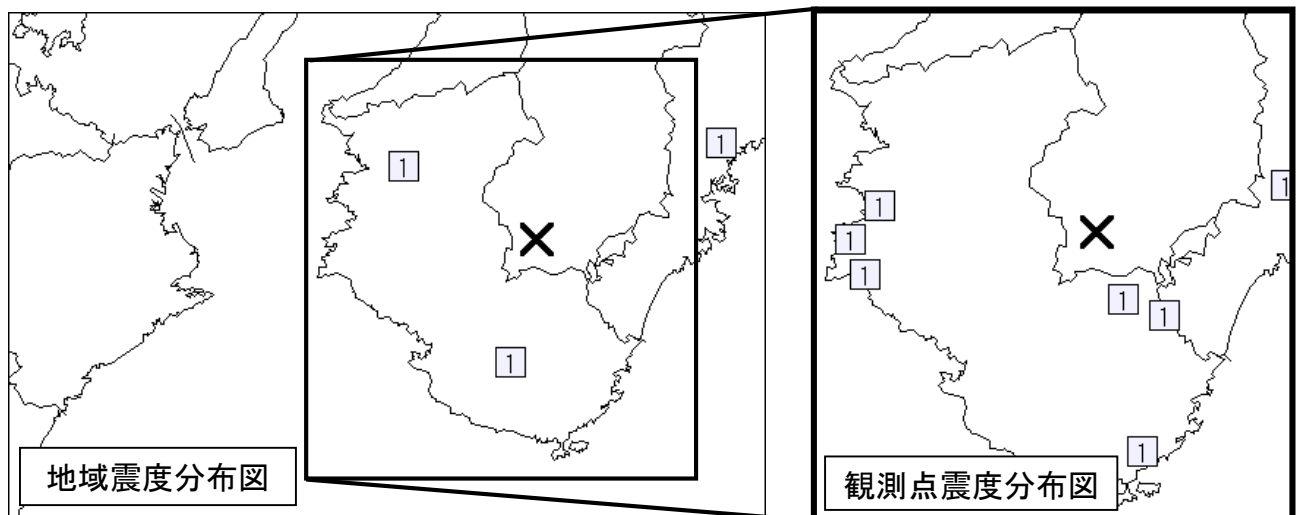


震度分布図（図中の×は震央）

2020年05月29日06時24分 和歌山県南部の地震(M3.5、深さ42km)



2020年05月31日11時20分 奈良県の地震(M3.6、深さ47km)



南海トラフ地震関連解説情報 (令和2年6月5日)

南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

1. 地震の観測状況

(顕著な地震活動に関する現象)

南海トラフ周辺では、特に目立った地震活動はありませんでした。

(ゆっくりすべりに関係する現象)

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震(微動)のうち、主なものは以下のとおりです。

- (1) 紀伊半島西部：5月2日から5月7日
- (2) 四国西部：5月17日から5月23日

2. 地殻変動の観測状況

(ゆっくりすべりに関係する現象)

上記(1)、(2)の深部低周波地震(微動)とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しました。また、周辺の傾斜データでも、わずかな変化が見られています。

GNS S観測によると、2019年春頃から四国中部でそれまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。また、2019年春頃から紀伊半島西部・四国東部で観測されている、それまでの傾向とは異なる地殻変動は、最近では停滞しているように見えます。さらに、2019年中頃から志摩半島でそれまでの傾向とは異なるわずかな地殻変動が観測されています。

(長期的な地殻変動)

GNS S観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

最近の南海トラフ周辺の地殻活動

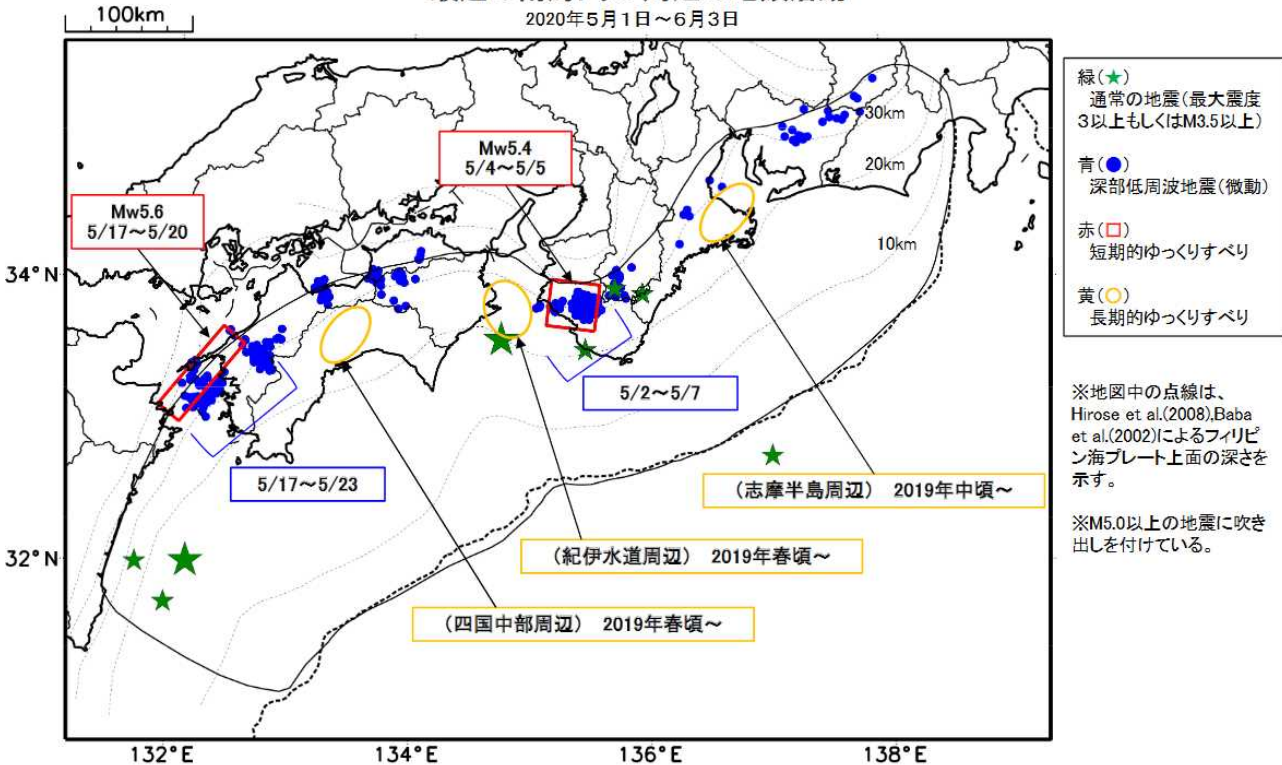


図 南海トラフ周辺の地殻活動をとりまとめた図

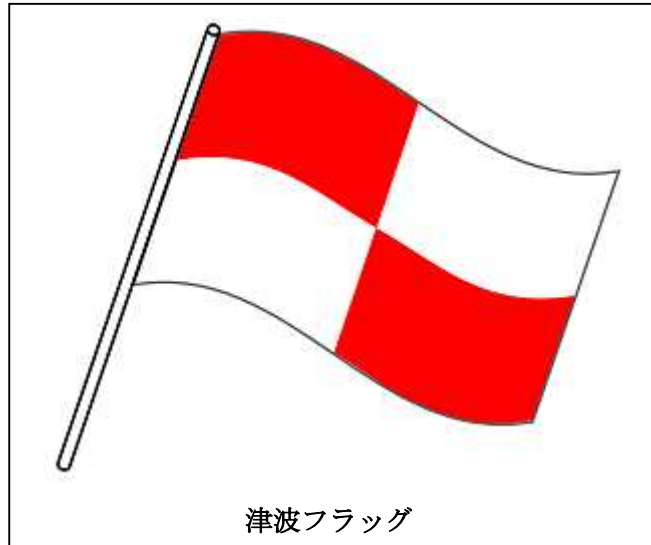
この資料は、「南海トラフ地震関連情報」の普及を目的に、発表された『南海トラフ地震関連解説情報』の内容を抜粋、編集加工した概略を掲載しています。各観測状況の評価等、より詳細な事項は以下 URL の資料をご覧ください。

- ・ 南海トラフ地震関連解説情報 <https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nteq/index.html>
- ・ 報道発表資料 <https://www.jma.go.jp/jma/index.html> ※新着情報をご覧ください

津波フラッグ

津波警報等（大津波警報・津波警報・津波注意報）が発表されたことを知る手段は、テレビ、ラジオ、携帯電話、防災無線等がありますが、令和2年夏より新たに視覚による伝達手段として「津波フラッグ」が加わります。海水浴場等で「津波フラッグ」による視覚的伝達により、聴覚障害の方や、遊泳中の音が聞き取りにくい方などにも津波警報等の発表をお知らせできるようになります。津波警報等を見聞きしたら、速やかに避難してください。

「津波フラッグ」のデザインは、国際信号旗の「貴船の進路に危険あり」を意味するU旗と同じデザインです。U旗は、海外では海からの緊急避難を知らせる旗として多く用いられています。



●リーフレット：「地震だ、津波だ、すぐ避難！」（気象庁HP）

https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami_bosai/img/leaflet_tsunami_bosai.pdf

— 地震だ、津波だ、すぐ避難！ —
「より高いところ」を目指して逃げよう！



津波はとても速いので、津波を見てから逃げたのでは間に合いません。海岸付近で地震の揺れを感じたり津波警報等が発表されたら、ただちに高い場所に急いで避難しましょう。

急げ!!

車を利用した場合、渋滞などにより円滑に避難できない場合があります。原則、徒歩で避難しましょう。テレビ、ラジオ、スマホ等により、最新の情報を確認しましょう。

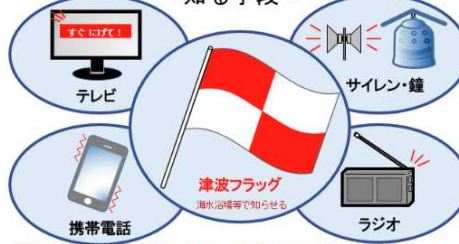


避難所ではなく目指すところは避難場所！

沿岸沿いにお住まいの方や旅行される方は、「津波いざードマップ」で「津波の避難場所」等を確認しておきましょう。また、日頃からいろいろな場合を考えて、避難経路やいざという時の行動などを周りの人と話し合っておくことが大切です。



— 津波警報等が出たら —
～知る手段～



津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話等で知ることができます。知る手段に、令和2年夏より新しく「津波フラッグ」が加わります。海岸で「津波フラッグ」を見かけたら、速やかに避難しましょう。

【津波フラッグのデザイン】津波フラッグ（赤白格子模様の旗）は、国際信号旗の「貴船の進路に危険あり」を意味するU旗と同じデザインです。U旗は、海外では海からの緊急避難を知らせる旗として多く用いられています。ただし、U旗は、旗の国際信号旗と組み合わさったことで意味が異なります。

情報種類	津波注意報	津波警報	大津波警報	
定性表現	表記なし	高い	巨大	巨大
予想される津波の高さ	1m (0.2m - 1m)	3m (1m - 3m)	5m (3m - 5m)	10m超 (5m - 10m) 10m超 (10m -)

津波は繰り返し襲ってきますので、津波警報等が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

津波警報等が出ている間は絶対に戻ってはいけません！



●津波警報等の視覚による伝達のあり方の検討会（気象庁HP）

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/study-panel/tsunami-shikaku/tsunami-shikaku.html>